

2022年度版 中学学参 お伝えしたい情報

教科・科目	書籍	種類	評価の声・採用理由	左記に対する具体的な箇所	ご要望への対応	増補箇所
理科	カラーブック理科資料	資料集	①実験の注意点や事故の例が詳しく掲載されているため、生徒への注意喚起の際、役に立つ。(長野県) ②他の手段では入手困難な資料が多く、とても気に入っている。(埼玉県) ③理科資料集は、見るだけで生徒が興味をもつかという視点で選んでいるが、本書は生徒が休み時間にも見ている。(青森県) ④すっきりして落ち着いたデザインで非常に良かった。(三重県) ⑤資料が豊富。授業中、進度の早い生徒に自学させている。(山口県) ⑥用語探しゲームとして授業に導入している。最初は先生で主導するが、慣れたら生徒主導で競わせている。ゲームの中で理科の3年間の内容を知らず知らずのうちに学べるのがメリット。(山口県)	①p.188・189 ②p.99(川原の石)など ③p.72～75(生物の進化)	①GIGAスクール構想に対応した教材とするため、生徒用にもデジタル的要素を提供してほしい。 →生徒用誌面に二次元コードを設置し、関連動画(NHK for School)へリンクします。	・二次元コードを新設(p.6,20など)し、NHK for Schoolの動画へリンク(計32箇所)。 ・教師用赤刷りを増補(p.92,106など)。
	COM.-PASS理科	ワーク	①「C定期テストにそなえよう」は、小單元ごとに散りばめて掲載されているので、試験の範囲が指定しやすい。(長野県) ②進学校レベルの内容を優先しつつも、低位の生徒でも理解ができる教材であるため。(神奈川県) ③基礎的な部分を重視しているため、採用した。(長野県) ④『アシストノート』で何度も問題がこなせて生徒の理解定着に役立つため。(福岡県)	/	①テスト作成に活用したいので、誌面のテキストデータがあると助かる。 →本誌のB・C問題について、Wordデータを提供させていただきます。	/
	理科探究ノート	ノート	①「集中ゼミ」で、生徒がつまづきやすい問題の解法を解説してあるのはありがたい。(東京都) ②WEB上でいつでも使える「サポートクラウド」は、テスト作成ツールとして活用している。(東京都) ③デザインが可愛く、生徒に親しみを持って使ってもらえそうだから。(福島県)	①單元ごとの「集中ゼミ」 ②「サポートクラウド」 ③表紙や本文中に出てくる、とうほう理科キャラクター「ペンギリンダー」	①色をつける、図にかきこむ、シールをはる、といった作業がもつとあると良い。 →着色作業や、かきこみ作業ができる箇所を各所に追加しました。また、作業をする箇所は吹き出しによる指示にして、目立たせるようにしました。生徒の皆さんが自身で色分けやかきこみをしたオリジナルノートで、理解を深めることを目的としています。 ②使う機会は少ないが、グラフ用紙がもう少しあるとよい。 →「サポートクラウド」や、別売の「デジタル教師用資料」にノート罫や方眼罫の入ったグラフ用紙のデータ(2種それぞれA4とB5サイズでご用意)を登載し、必要な枚数を出力してお使いいただけます。	①別売の「デジタル教師用資料」で、登載する板書例を全單元分に増補。
3年間の整理と復習 理科	総まとめ教材	①各単元の導入が易しいので、入試対策の学習を始めるうえで使いやすい教材。(東京都) ②難易度、問題量がちょうどよく、この教材で土台を作れたので入試過去問や応用問題を解くといった学習にもスムーズにシフトできた。(東京都)	/	/	・教師用サポートクラウドで「図版データ(JPEG)」を提供 ・「植物の分類」を苦手とする生徒をフォローするため「重点補強」を新設。 ・新指導要領から登場した難しい内容の「ダニエル電池」をカラー図版で解説。	